

知的財産価値評価サービス の ご紹介

2018年1月

知的財産価値評価とは？

- ・知的財産を重要な経営資源として捉え、企業が保有する特許・商標等の知的財産権を、その企業の事業に添って解析し、知的財産の観点から事業評価を行うこと。
- ・知的財産の法的価値や技術的価値を分析・評価する定性的価値評価と、その経済的・金銭的価値を評価する定量的価値評価があります。
- ・クライアント様が所有する知的財産の価値評価を行います。

各界における知財価値評価の高まり

- **金融庁**・・・弁理士等の外部専門家による多様なベンチマーク(指標)に基づく顧客企業の事業性評価により融資を判断
- **特許庁**・・・知財金融の一環として知財活用ビジネスを適切に評価するための「知財ビジネス評価書」作成支援(金融機関向け)
- **内閣府**・・・知財のビジネス価値評価検討タスクフォースの立上げ
- **経産省・中小機構**・・・事業価値を高める経営レポート・知的資産経営報告書・ローカルベンチマークにより知財の見える化
- **企業**・・・非財務情報開示の在り方として、投資家向け広報活動として「知的財産報告書」を掲載する企業が増えている(大企業中心)

知財価値評価のニーズとメリット

- 経営戦略、融資先への与信、M & Aにおいて知的財産の関与する割合が高まり、その経済的価値を把握するニーズが高まっています。
- 知財価値評価は以下に役立ちます
 - 資金調達の円滑な実施
 - 流通の円滑な実施
 - M & Aの円滑な実施
- 特許を保有する企業は保有していない企業よりも営業利益率が高く、経営にプラスに働きます。
- 知財の適正な評価結果の見える化は、企業様ご自身だけでなく、金融機関、コンサルタント業などの様々な業態のクライアント様にとってもメリットがあります。
- 投資家向け広報活動として財務報告書を補完する非財務情報の開示として利用できます。

企業様

- ・経営陣や知財部にとって、知財の観点から事業戦略を構築するのに役立ちます！
- ・知財経営を目指すためには必須のプロセスです！
- ・自社の技術内容と知財の強みやチャンスを把握できるため、ビジネスマッチングや営業・販路開拓の資料として活用できます！
- ・財務報告書を補完する非財務情報の開示に役立ちます！ 具体的には
 - ・自社の知的財産報告書、知的資産経営報告書、知財白書などの作成のための資料として役立ちます！
- ・クライアントや融資先・支援先へのプレゼンに役立ちます！

金融機関様

- ・融資先企業の事業性や中長期的な成長性を見極め、深掘りするための新たなベンチマークとなります！
- ・知財絡みの事業の状況が把握できるので、経営改善のためのコンサルティングに役立ちます！
- ・知財を切り口とした事業性判断のための弁理士（外部機関専門家）のアドバイスがこめられています！
- ・企業が持っている技術の内容がまとまっているため企業とのコミュニケーションが図れます！
- ・融資判断の補強材料・参考資料として活用できます！

コンサルタント業・公認会計士様

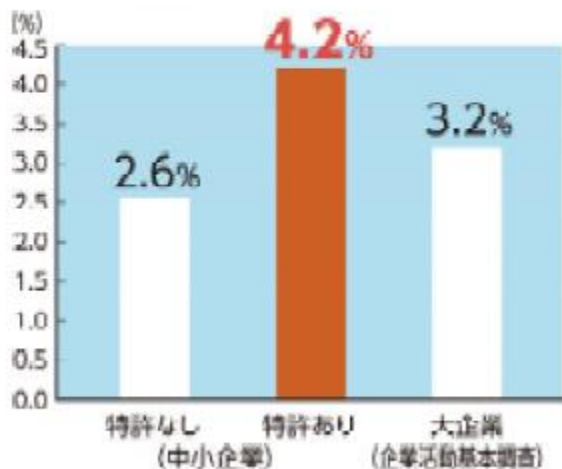
- ・M&A前のデューデリジェンスにおける企業価値判断の一要素として知財価値評価を致します！
- ・M&A後のPPA業務において無形資産たる知的財産権の見える化を行ない、資産計上のための経済的価値評価を致します！
- ・ロイヤルティ料率の検討に基づいて知財の金銭的価値評価を致します！
- ・知財の事業や売上への貢献度や契約の交渉材料を整理します！
- ・知財固有のリスクを分析し、事業計画への影響を検討します！

特許を保有する企業は保有していない企業よりも 営業利益率が高く、経営にプラスに働く

特許を保有する企業は保有していない企業よりも売上高営業利益率、従業員一人当たり営業利益率ともに高く、**知的財産権を取得することは新たなキャッシュフローを生み出すことにつながり、結果経営にプラスに働く**ことが分かります。

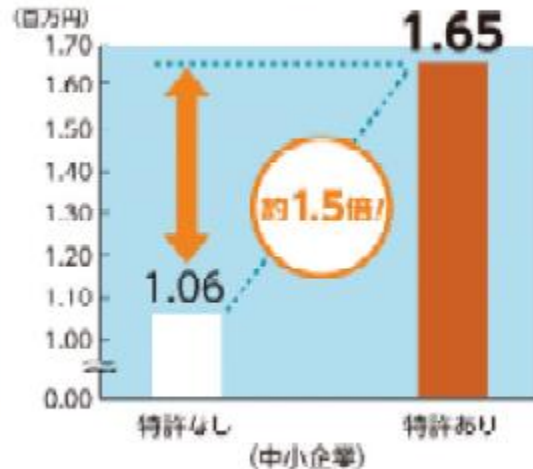
中小企業の成長要因に密接に関わる特許等の知財を評価することは、金融機関が企業の事業性や中長期的な成長性を見極めるために有益です！

■特許権所有の有無と
売上高営業利益率



【平成27年度中小企業実態基本調査】(中小企業庁)、「平成27年度企業活動基本調査速報」(経済産業省)から作成

■特許権所有の有無と
従業員一人当たり営業利益



知財の効果

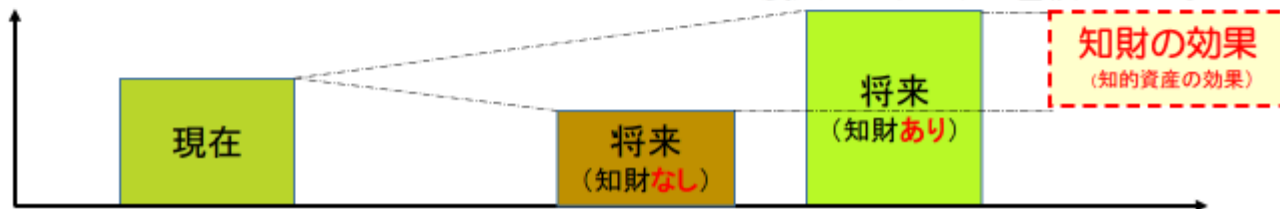


事業（牧場経営）を
知的財産（杭）で守りながら実施

事業（牧場経営）を
知的財産（杭）で守りながら**拡張**

- 出荷可能な牛（製品）が増える
- 土地が改良され、面積も増える
- 農夫のノウハウの蓄積 など

事業価値

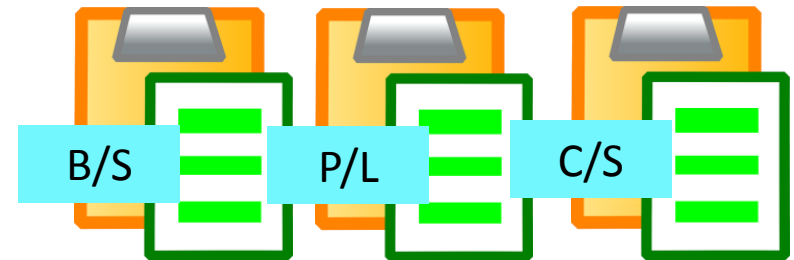


内閣府知的財産戦略推進事務局_知財のビジネス価値評価検討タスクフォース_第1回会合説明資料_平成29年11月16日より

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kensho_hyoka_kikaku/2018/katihyoka_tf/dai1/siryou1-3.pdf)

知財価値評価書は第 4 の決算書

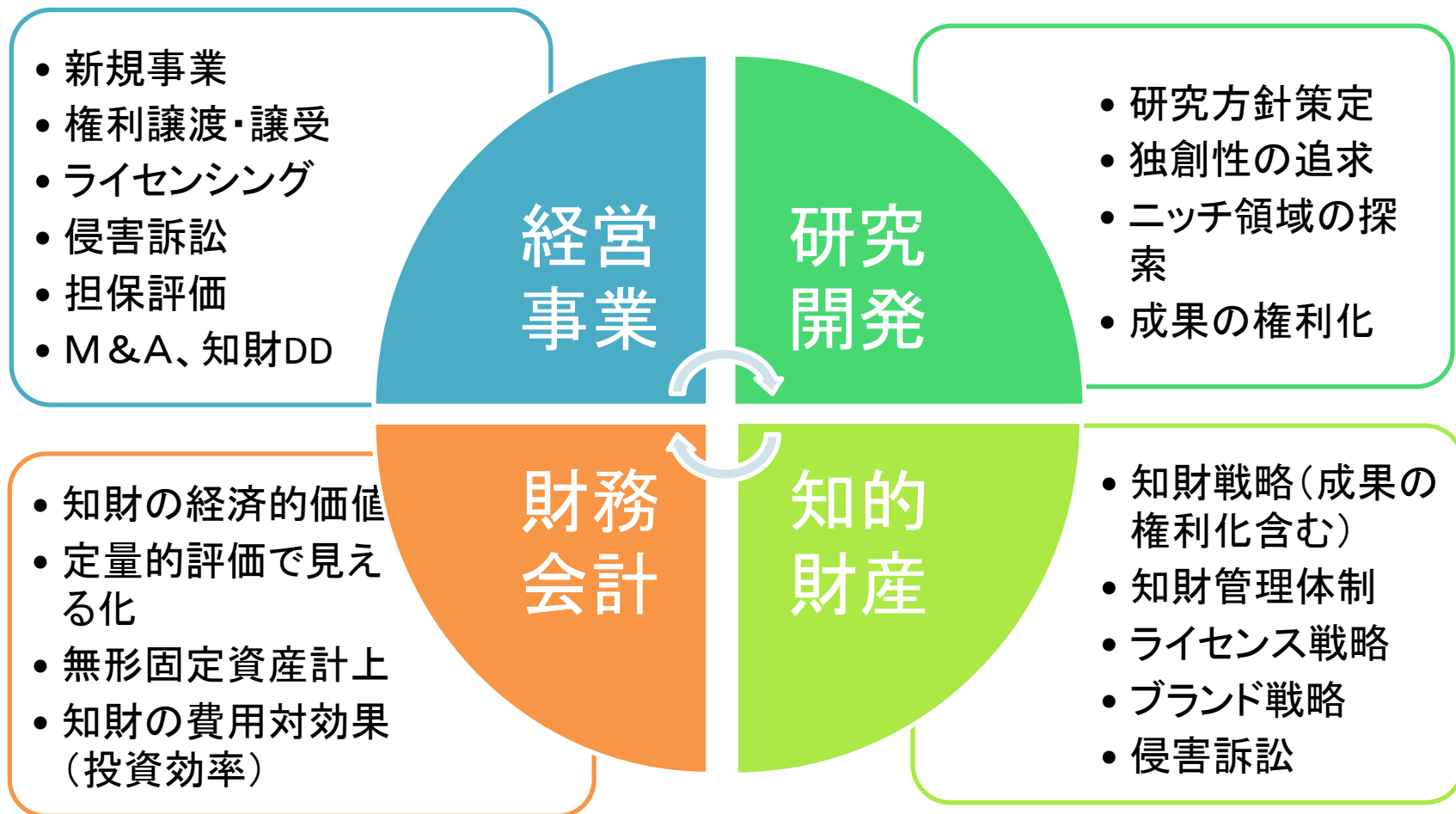
- ・財務三表(3つの決算書)
貸借対照表(B/S)
損益計算書(P/L)
キャッシュフロー計算書(C/S)



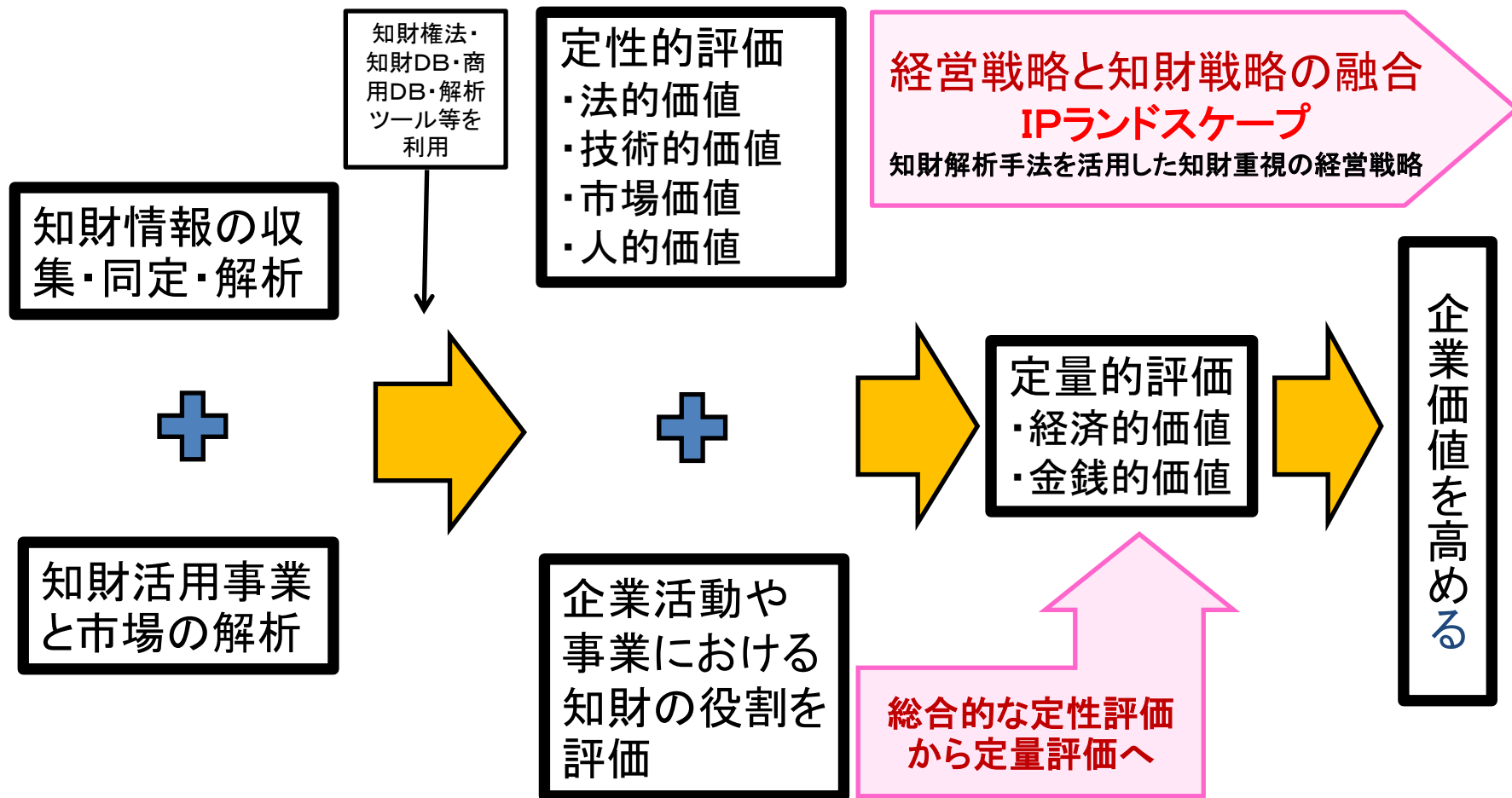
- ・企業の知財の状態を表す「第4の決算書」
として、「知財価値評価書」
を提唱いたします。



経営戦略と知財戦略の融合



知財価値評価



知財の金銭的価値

知財の経済的・金銭的価値評価にはの3つのアプローチがあります。

① インカムアプローチ

- 売上げ・営業利益見通し、知的財産権の事業への貢献度を個別に推測し、将来得られる想定キャッシュフローを現在価値に割り引くいわゆるDCF法にて知的財産の価値を求める方法。

② マーケットアプローチ

- 類似の知的財産権の市場での売買を参考に知的財産権の価値を求める方法。ただし、実際に売買の実績がないと評価できない。

③ コストアプローチ

- 当該知的財産権の創作、取得に要した費用を算出し、当該権利の価値とする方法。

ロイヤルティ免除法

- 特許権・商標権等の知財権を所有することによりロイヤルティ(実施料・使用料)の支払いが免除されるとの考えから、仮にその知財権を保有していない場合に支払うロイヤルティをその知財権の金銭的価値として評価する方法。
- ロイヤルティをキャッシュフローであると想定し、前記①のインカムアプローチ、後述のDCF法をベースとした評価方法。

AIVAS® メソッド

特許庁から発行されている特許評価指標（技術移転版）を基にして知財の定性評価指標をポイント化し、このポイントを基にして、技術分野や商標・役務分類ごとのロイヤルティ料率の統計データから、想定ロイヤルティ料率を求めます。

ロイヤルティ免除法に基づくインカムアプローチにより、知財の経済的価値を求めます。

インカムアプローチ（ロイヤルティ免除法）に基づく 知財価値評価計算表（Discount Cash Flow法）

期 N	2017 0	2018 1	2019 2	2020 3	2021 4	2022 5	2023 6	2024 7	2025 8	2026 9	2027 10	2028 11
限界売上高 (見込)(百万円) ①		6,000	6,600	7,300	8,400	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
想定ロイヤルティレート(%) ②		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
想定ロイヤルティ(百万円) ④=①×②		198	218	241	277	297	297	297	297	297	297	297
実効税率(%) ③		40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
想定ネット・キャッシュフロー (百万円) ⑤=④×(1-③)		119	131	145	166	178	178	178	178	178	178	178
割引率(期待収益率)(%) ⑥		4.01	4.01	4.01	4.01	4.01	4.01	4.01	4.01	4.01	4.01	4.01
各期の評価額(百万円) ⑤/(1+⑥) ^N		114	121	128	142	146	141	135	130	125	120	116
現在価値 $\sum_{1}^{11} ⑤ / (1 + ⑥)^N =$	1420	現在価値に割り引くために複利の逆計算 $\sum_{1}^{11} ⑤ / (1 + ⑥)^N$										

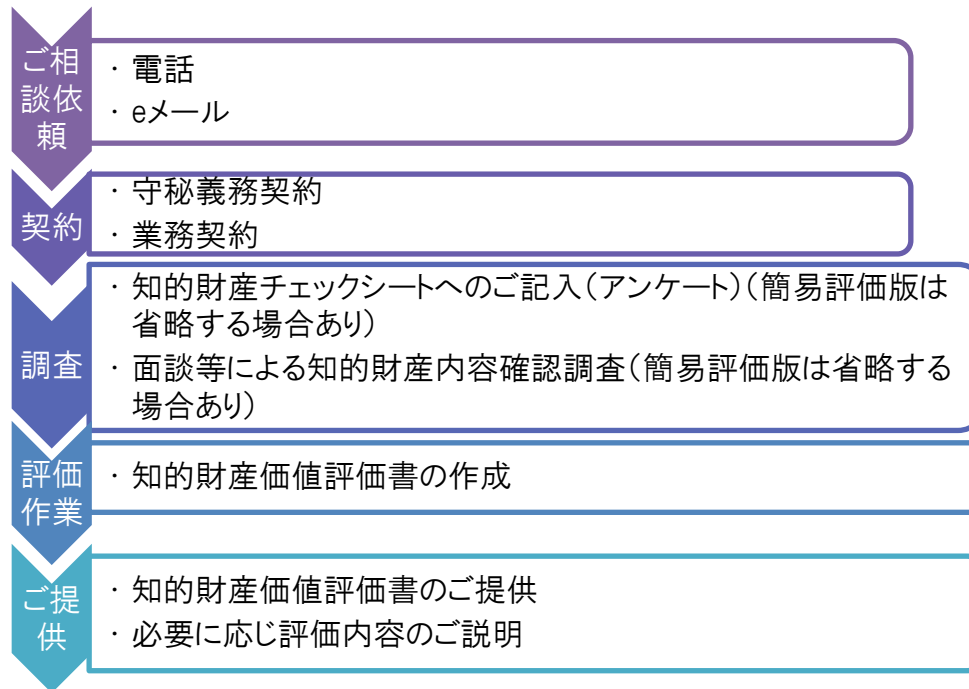
他の情報

自社の知的財産の評価だけでなく、

- ・ライバル企業の最近の出願数や出願分野の傾向と自社との比較
- ・業界のトレンドの解析

なども提供することができ、今後の貴社の知財活用・知財経営に役立てることができると思います。

知財価値評価手続きの流れ



ご拝読ありがとうございました。

知財価値評価に関するご依頼、ご質問等は、お気軽に下記窓口までご連絡ください。心よりお待ちしております。

☆お問い合わせ窓口

特許業務法人 浅村特許事務所

「知財価値評価AIVASに関するご相談である旨お申し出下さい。」

Tel: 03-5715-8651 (代表) (受付時間 9:00～17:00)

Email: asamura@asamura.jp